

# 平成28年度 事業報告書

## 公益財団法人 岡山県身体障害者福祉連合会

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

### [総括]

国においては、障害者制度改革が集中的に推進され、「障害者基本法」の改正(平成23年)、「障害者総合支援法」の制定(平成24年)、「障害者差別解消法」の制定(平成25年)、「障害者権利条約」の批准(平成26年)など一連の法制度の整備が進められ、平成28年度には、「障害者差別解消法」及び「改正障害者雇用促進法」が施行(平成28年4月)され、「改正障害者総合支援法」が成立(同年5月)した。

こうしたなか当会では、熊本地震(平成28年4月発生)による大規模災害に対し、会員団体と連携して義援金の募金活動を実施するとともに、相模原市障害者支援施設における殺傷事件(同年7月発生)に対しては、事件の全容解明と障害者差別を防ぐ対策を求める共同声明を発表した。

当会では、日本身体障害者団体連合会をはじめとする関係団体等と連携して障害者制度改革等に係る情報収集に努め提案活動を行うとともに、身体障害者相談員活動の活性化、連合会組織の充実強化、会員団体活動の活性化を図りに努め、また、関係団体等との連携により各種社会参加促進施策を総合的に実施した。さらに、公益財団法人として当会は、関係法令や公益性基準、定款等を遵守した適正な法人運営の確保に努めた。

### [重点項目]

#### 1 障害者制度改革に対する対応

国の障害者制度改革の進捗状況等を注視しながら、日本身体障害者団体連合会や中・四国ブロック身体障害者団体連絡協議会などと連携して障害者の権利擁護、就労支援などの情報を収集し、必要な提案活動を行った。

#### <国等の動向>

- ・「障害者差別解消法」「改正障害者雇用促進法」施行(4月)
- ・「改正障害者総合支援法」成立(5月)

#### <活動状況>

- ・第61回日本身体障害者福祉大会での政策協議、大会宣言等(5月)
- ・岡山県障害福祉課との意見交換(8月)
- ・公明党政策(予算)要望懇談会(9月)
- ・自由民主党岡山県議団との懇談(陳情)(11月)

## 2 身体障害者相談員活動の充実と活性化

研修等を通じてピアカウンセリング手法や活動報告書提出の必要性について周知を図るなど、相談員の資質向上及びネットワークづくりに努めた。

- ・岡山県身体障害者相談員協議会役員会(9月)
- ・中・四国ブロック身体障害者相談員研修会(10月)
- ・岡山県身体障害者相談員研修会(11月)

## 3 連合会並びに会員団体組織の充実強化と活動の活性化

賛助会員募集への積極的な呼び掛けや青壮年部及び女性部活動の充実強化を通じて連合会組織の充実強化に努めるとともに、会員団体組織の各種行事等に積極的に参加して活動の活性化を図った。

- ・女性部活動(総会7月、研修会8月、2月)
- ・青壮年部活動(総会7月、交歓会3月)
- ・会員団体の総会・大会等への出席(延べ18回)

## 4 障害者の社会参加促進

障害者の一層の自立と社会参加の促進を図ることができるよう、各種社会参加促進施策を関係団体との連携により総合的かつ効果的に実施した。

- ・岡山県地域生活支援社会参加促進事業(14事業)

## 5 公益財団法人としての運営

事業の効率的な執行を図るとともに、コンプライアンス意識の徹底を図り、関係法令や公益基準、定款等を遵守した適正な法人運営の確保に努めた。

## 【事業実施状況】

### 1 障害者の日常生活、職業、結婚等に関する相談支援事業(公1事業)

#### (1) 障害者総合相談事業

身体、知的、精神の障害者本人や家族等の関係者を対象に、暮らしや人権に関わる生活全般について常設の相談窓口を設置して相談員が相談に応じた。また、障害者の結婚に関する相談に応じるとともに、結婚を希望する男女が参加する「ふれ愛のつどい」を開催した。

- ・一般相談:月～金曜日、9:30～16:30 相談件数183件
- ・専門相談(弁護士相談):予約制 相談件数 4件
- ・ふれ愛のつどい (11月6日、岡山市) 参加者8名(男性6名、女性2名)

#### (2) 在宅重度身体障害者激励事業

在宅の重度身体障害者の福祉向上を図るため、各市町村の障害者団体の役員等が重度障害者の自宅を訪問して慰問品を直接届け激励するとともに、生活全般の相談に応じた。

- ・NHK歳末たすけあい義援金による慰問品(敷きパッド)を508名に配布 総額100万円

#### (3) 駐車禁止除外指定車標章の申請・交付と制度の啓発

下肢、体幹、内部等の障害により歩行困難な障害者が乗車又は運転する車に対して、駐車禁止区域内でも駐車が認められる駐車禁止除外指定車標章の申請受付業務を行った。

- ・新規 24件、更新 212件 計 236件

#### (4) JR ジパング倶楽部の加入申請受付と制度の啓発

障害者がJRの特急券、急行券等の割引を受けるために必要なJRジパング倶楽部特別会員制度のPRや加入申込受付業務を行った。

- ・新規 25件、更新 302件 計 327件

#### (5) 身体障害者相談員研修事業

身体障害者相談員の資質向上を通じて相談活動の促進及び相談援護の充実を図るため、相談員を対象に研修を実施した。

- ・岡山県身体障害者相談員協議会役員会(9月27日、岡山市)
- ・第18回中・四国ブロック身体障害者相談員研修会(10月6日、鳥取市、参加者10名)  
「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」ほか
- ・岡山県身体障害者相談員研修会(11月1日、岡山市、参加者150名)  
「障害者差別解消法とあいサポート運動について」ほか

## 2 障害者の生活訓練、指導者養成等社会参加促進事業(公2事業)

### (1) 身体障害者補助犬育成事業

障害者の社会参加を促進するため障害者補助犬を育成し貸与した。

- ・補助犬貸与 盲導犬及び介助犬 各1件 (H10年度からの累計 24件)

### (2) オストメイト社会適応訓練事業

ストマ用装具の装着者に対して、装具の使用等家庭や職場生活に必要な指導訓練を行うとともに、社会生活に必要な基本的な事項について相談に応じた。

日本オストミー協会岡山県支部へ再委託

- ・参加延べ人員 346名 開催回数 17回

### (3) 音声機能障害者発声訓練・指導者養成事業

疾病等により咽喉を摘出し、音声機能を喪失した障害者に対して発声訓練を行い、社会参加の促進を図るとともに、発声訓練に携わる指導者を養成した。

新声会へ再委託

- ・発声訓練 参加延べ人員 1176名
- ・一斉指導及び個別指導 40回 移動教室 2回
- ・発声大会 1回
- ・指導者養成研修 4名参加

### (4) 盲ろう者通訳・介助員養成・派遣事業

盲ろう者のコミュニケーションに必要な様々な伝達手段及び外出支援技能を修得した盲ろう者通訳介助員を養成するとともに、盲ろう者からの要請に応じて派遣した。

岡山盲ろう者友の会へ再委託

- ・養成講座 12日間(22講座) 受講者数 18名
- ・派遣事業 派遣対象登録者 13名 利用者12名 延べ派遣件数675件

### (5) 盲ろう者向け生活訓練等促進事業

中途盲ろう者に対して自立した日常生活を送ることができるよう、様々なコミュニケーションに関する訓練や日常生活に関する訓練、その他必要な相談、指導を行った。

岡山盲ろう者友の会へ再委託

- ・実施回数24回 70時間
- ・受講者数 3名

(6) パソコンボランティア養成・派遣事業

障害者のパソコン機器等の使用を支援するパソコンボランティアを障害者からの要請に応じて派遣した。

・派遣数 14名(延べ38回)

(7) 障害者ITサポートセンター運営事業

障害者の在宅就労やIT利用等の促進を図る総合的なサービス拠点として障害者ITサポートセンターを設置し、IT機器展示コーナーを運営するとともに、IT機器の利用相談等に応じた。

展示・体験コーナー

・見学者数 864名

・出張展示:真庭市、矢掛町

IT相談

・来所 12件 電話・FAX 46件 出張展示相談3件

(8) パソコン利用促進事業

肢体不自由や重複障害を有する障害者を対象にパソコン教室を開催し、パソコン利用の促進を図った。

①パソコン教室(基礎Ⅰ)

・岡山盲ろう者友の会へ再委託

開催回数 延べ 13回 受講者数4名

②パソコン教室(基礎Ⅱ)

・肢体不自由者対象パソコン教室

開催回数 延べ 34回 受講者数 17名

(9) 重度障害者在宅就労促進事業(バーチャル工房おかやま)

在宅重度障害者の情報機器やインターネットを活用した就労指導を行うとともに、企業等からの業務受注、工房利用者への配分、成果品の検収等を行った。

・登録者 15名

・受注件数 18件(民間:2件、官公庁7件、団体9件)

・業務内容 ホームページ作成、テープ起こし、データ入力等

3 障害者の福祉増進及び啓発、広報事業(公3事業)

(1) 障害者社会参加推進センターの設置運営

障害者社会参加促進事業の体系的・効果的な実施を図るため、障害者社会参加推進センタ

一を設置し、社会参加推進事業に係る連絡・調整や必要な情報の収集等を行った。

- ・岡山県障害者社会参加推進協議会(3月10日、岡山市)

## (2) 団体活動育成支援等による障害者福祉増進事業

### ①地域や障害種別の障害者団体の活動の育成、支援

- ・会員団体の総会・大会等への出席(延べ18回)

### ②青壮年及び女性部活動の支援

- ・女性部 総会(7月1日、岡山市)、研修会(8月21日 真庭市、2月17日 岡山市)
- ・青壮年部 総会(7月10日、倉敷市)、交歓会(3月12日、倉敷市)

### ③各種行事の開催及び参加

- ・第16回岡山県障害者スポーツ大会(4月29日～7月11日、岡山市ほか、15競技)  
水泳、陸上競技等に係員派遣
- ・第8回中・四国身体障害者野球大会(9月4日、広島県呉市)
- ・第65回日本盲人会連合中国ブロック盲人福祉大会(9月10～11日、岡山市)
- ・岡山県総合社会福祉大会(10月12日、岡山市)
- ・第16回全国障害者スポーツ大会(10月22～24日、岩手県)
- ・岡山県身体障害者スポーツ大会(10月3日、岡山市)
- ・障害者フォーラム2016(12月2日、東京都)
- ・障害者週間街頭啓発活動 あいサポートフェスタ2016(12月5日、岡山市)
- ・2017年耳の日の集い(2月26日、岡山市)

### ④関係団体役員や審議会等委員就任による情報収集と意見発信

#### ア 国及び県レベルの会議等への参画

- ・岡山県社会福祉審議会(4月26日、岡山市)
- ・福祉用具展示・体験コーナー運営委員会(6月29日、岡山市)
- ・岡山県障害者施策推進審議会・岡山県障害者差別解消支援地域協議会(7月22日、岡山市)
- ・岡山県障害福祉課との意見交換(8月31日、岡山市)
- ・公明党政策(予算)要望懇談会(9月19日、岡山市)
- ・岡山県防災会議(10月31日、岡山市)
- ・自由民主党岡山県議団との懇談〈陳情〉(11月14日、岡山市)
- ・岡山県障害者スポーツ協会専門委員会(11月18日、岡山市)
- ・岡山県パリアフリーリーダー会議(2月8日、岡山市)

- ・バリアフリー講座(3月6日、岡山市)
- ・岡山県障害者スポーツ協会理事会(3月14日、岡山市)

#### イ 日本身体障害者団体連合会との連携

- ・日身連正副会長会(4月26日、6月17日、8月19日、9月13日、10月28日、11月24日、12月1日、12月15日、2月13日、3月22日、東京都)
- ・日身連理事会(4月26日、12月1日、3月8日、東京都)
- ・日身連評議員会(5月11日、京都市 12月15日、3月22日、東京都)
- ・日身連財政の安定化に対する検討委員会(11月24日、東京都)
- ・第61回日本身体障害者福祉大会〈政策協議〉(5月11日、京都市)
- ・第61回日本身体障害者福祉大会(5月12日、京都市、参加者62名)

#### ウ 中・四国ブロック各身体障害者団体との連携

- ・中・四国ブロック身体障害者団体連絡協議会〈要望事項協議〉(7月14日、山口市)
- ・中・四国身体障害者相談員連絡協議会(7月14日、山口市)
- ・中・四国ブロック身体障害者相談員研修会(10月6日、鳥取市)
- ・中・四国身体障害者福祉大会(11月11日、山口市)
- ・中・四国身体障害者団体事務局長会議〈課題協議〉(12月15日、松江市)
- ・中・四国ブロック連絡協議会〈事業計画協議〉(1月19日、高松市)

#### エ 他団体等との連携

- ・ハートフルビジネスおかやま総会(7月1日、岡山市)
- ・共同募金オープニングセレモニー(10月1日、岡山市)
- ・障害者ワークフェア・インおかやま(10月19日、岡山市)
- ・手をつなぐ育成会岡山県大会(11月27日、岡山市)
- ・社会福祉団体等会員会議(1月19日、岡山市)
- ・岡山県社会福祉協議会理事会(5月26日、12月16日、2月27日、岡山市)

### (3) 機関紙「はばたき」の発行等啓発・広報事業

#### 機関紙「はばたき」の発行

- ・機関紙「はばたき」 毎月1300部発行
- ・国・県の障害者施策の動向、当会の事業等について情報提供

#### ホームページによる情報提供

- ・当会の組織、事業等に関する情報の発信
- ・行政や関係団体とのリンクによる情報提供

#### 4 法人運営

##### (1) 連合会運営のための会議開催

- ・監事監査(5月18日)
- ・正・副会長会議(5月27日、2月24日)
- ・理事会(5月27日、2月24日)
- ・評議員会(6月16日、3月16日)
- ・会長表彰審査会(8月31日)

##### (2) その他

###### ① 熊本地震の被災者支援

会員団体と連携して募金活動を実施(5月27日～6月30日)

義援金296,750円を日身連熊本地震対策本部に送金

###### ② 相模原市障害者支援施設における殺傷事件への対応

事件の全容解明と障害者差別を防ぐ対策を求める共同声明を発表(7月29日)

以上



## 貸借対照表

平成29年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	20,951,133	19,552,352	1,398,781
現金	21,027	11,027	10,000
普通預金	6,634,136	5,247,607	1,386,529
定期預金	14,295,970	14,293,718	2,252
未収金	9,000	968,000	△959,000
流動資産合計	20,960,133	20,520,352	439,781
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産特定預金	3,823,285	3,823,285	0
基本財産合計	3,823,285	3,823,285	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	4,258,650	3,821,136	437,514
中四国大会準備預金	3,582,276	3,581,735	541
特定資産合計	7,840,926	7,402,871	438,055
(3) その他固定資産			
什器備品	229,954	383,582	△153,628
その他固定資産合計	229,954	383,582	△153,628
固定資産合計	11,894,165	11,609,738	284,427
資産の部合計	32,854,298	32,130,090	724,208
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	788,058	925,471	△137,413
前受金	95,000	89,000	6,000
預り金	62,106	66,186	△4,080
流動負債合計	945,164	1,080,657	△135,493
2 固定負債			
退職給付引当金	4,258,650	3,821,136	437,514
固定負債合計	4,258,650	3,821,136	437,514
負債の部合計	5,203,814	4,901,793	302,021
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
寄付金	3,800,000	3,800,000	0
指定正味財産合計	3,800,000	3,800,000	0
(うち基本財産への充当額)	( 3,800,000)	( 3,800,000)	( 0)
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	( 23,285)	( 23,285)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 3,582,276)	( 3,581,735)	( 541)
正味財産の部合計	27,650,484	27,228,297	422,187
負債及び正味財産合計	32,854,298	32,130,090	724,208

## 正味財産増減計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,220	3,211	9
特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,535	1,887	△352
受取会費			
正会員受取会費	1,179,000	1,257,000	△78,000
事業収益			
受託事業収益	29,960,794	28,924,509	1,036,285
自主事業収益	2,733,542	2,801,864	△68,322
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	440,000	440,000	0
受取民間助成金	440,000	440,000	0
受取寄付金			
受取寄付金	767,990	689,322	78,668
募金収益	1,500,000	1,500,000	0
賛助会費	158,000	43,000	115,000
雑収益			
受取利息	6,872	8,519	△1,647
雑収益	11,209	7,950	3,259
経常収益計	37,202,162	36,117,262	1,084,900
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	12,597,717	12,215,168	382,549
臨時雇賃金	2,460,000	3,108,000	△648,000
退職給付費用	424,821	299,285	125,536
法定福利費	1,970,803	1,969,103	1,700
工賃	630,918	555,670	75,248
旅費交通費	845,746	942,361	△96,615
通信運搬費	570,461	586,963	△16,502
減価償却費	78,304	128,634	△50,330
消耗品費	1,964,802	2,485,510	△520,708
印刷製本費	477,004	634,716	△157,712
研修費	26,300	21,300	5,000
賃借料	674,297	698,866	△24,569
諸謝金	379,200	394,440	△15,240
会議費	49,055	86,328	△37,273
支払負担金	88,000	88,000	0
支払助成金	510,000	510,000	0
委託費	11,945,000	10,563,000	1,382,000
支払手数料	18,910	12,674	6,236
雑費	11,000	18,120	△7,120
管理費			
給料手当	376,243	837,951	△461,708
退職給付費用	12,693	21,607	△8,914
法定福利費	58,862	135,164	△76,302
福利厚生費	58,807	54,682	4,125
会議費	3,488	11,355	△7,867
旅費交通費	224,200	191,640	32,560
通信運搬費	34,572	39,400	△4,828
減価償却費	8,700	58,275	△49,575
消耗品費	3,427	23,092	△19,665

# 正味財産増減計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
印刷製本費	5,000	3,000	2,000
賃借料	54,727	63,943	△9,216
諸謝金	24,400	24,400	0
支払負担金	120,000	120,000	0
支払手数料	5,294	8,556	△3,262
雑費	600	1,350	△750
経常費用計	36,713,351	36,912,553	△199,202
評価損益等調整前当期経常増減額	488,811	△795,291	1,284,102
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	488,811	△795,291	1,284,102
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損			
什器備品除却損	66,624	25,601	41,023
経常外費用計	66,624	25,601	41,023
当期経常外増減額	△66,624	△25,601	△41,023
税引前当期一般正味財産増減額	422,187	△820,892	1,243,079
当期一般正味財産増減額	422,187	△820,892	1,243,079
一般正味財産期首残高	23,428,297	24,249,189	△820,892
一般正味財産期末残高	23,850,484	23,428,297	422,187
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,800,000	3,800,000	0
指定正味財産期末残高	3,800,000	3,800,000	0
III 正味財産期末残高	27,650,484	27,228,297	422,187